

国際プログラム履修の手引き

2023 年 1 月 17 日改訂

目次

- 1. 趣旨 ---> 2
- 2. 履修の要件 ---> 2
- 3. 履修科目について ---> 2
- 4. 国際プログラム履修の流れ ---> 3
- 5. 留学について ---> 5
 - 部局間交流協定校への留学の流れ ---> 5
 - 大学間交流協定校への留学の流れ ---> 6
 - 単位取得シミュレーション ---> 7
 - 単位互換 ---> 7
 - 留学奨学金 ---> 8
- 6. 留学生との交流 ---> 8
 - 留学生サポーター ---> 8
 - Culture Nabe ---> 8
- 7. 問い合わせ窓口 ---> 9

1. 趣旨

国際社会において主体的に活動するために必要な姿勢、態度、コミュニケーション能力を身につけ、かつ専門的なデザインの知識・能力と自国についてのアイデンティティをもった人材の育成を目的としています。留学、またはこれに準ずる科目の履修を通して、日本にはないデザインへのアプローチ、手法、発想を学び、デザインの幅を広げます。

2. プログラム修了の要件

国際プログラム登録後、次の3つの条件を満たす学生に対してプログラム修了証を交付します。

(1) 次の4科目の単位を修得していること

- ・ Intellectual Property Rights: Global Perspective (学部 2 年夏学期)
- ・ Global Design Innovation (学部 2 年夏学期)
- ・ Design Pitching Skills (学部 2 年秋学期)
- ・ Start-ups and Global Disruptors (学部 2 年冬学期)

(2) 留学(短期留学を含む)により、語学以外の科目で 4 単位以上を取得していること。

(3) 学部の卒業要件を満たしていること

3. 履修科目について

英語で実施される国際プログラム4科目は、各コースのカリキュラムが提供する専門科目を補完する内容となっています。グローバルな状況を見ると、将来的にはスタートアップの分野で活躍する人が増え、従来型のキャリアよりアントレプレナーシップが求められるようになるでしょう。それを視野にいれて、留学や国際的なビジネスの場で不可欠な英語でのコミュニケーション能力や、自らのアイデアをプレゼンテーションするスキルを身につける科目、海外大学の学生によるイノベティブなプロジェクトなどを紹介する科目、実務経験のある専門の講師による国際的なレベルでのスタートアップとグローバルな知的財産に関わる科目が提供されています。

Intellectual Property Rights: Global Perspective (学部 2 年夏学期)

国内外の知的財産に関わる基本的な事柄を実践に役立つような形で学びます。

Global Design Innovation (学部 2 年夏学期)

海外の社会デザインの具体的なケーススタディを通して、プロジェクトに参加し、課題に対して解決案やプロトタイプの提案を英語で行う能力を身につけます。

Design Pitching Skills（学部 2 年秋学期）

自分のアイデアの説明を適切に英語で行うためのプレゼンテーション・コミュニケーション・ピッチングなどのスキルを習得します。

Start-ups and Global Disruptors（学部 2 年冬学期）

起業家として事業スタートアップのために必要となる基本的な理論や知識・方法などをケーススタディなどを通じ、より実践に即した形で学びます。

> 国際プログラム担当教員

Loh Wei Leong, Leon 未来共生デザイン部門

芸術工学研究院 環境デザイン部門

芸術工学部 芸術工学科 未来構想デザインコース

専門:デザイン教育

Hall, Michael 未来共生デザイン部門

芸術工学研究院 デザインストラテジー部門

芸術工学部 芸術工学科 未来構想デザインコース

専門:環境リスクマネジメント、英語コミュニケーションスキル

稲村徳州 ストラテジックデザイン部門

芸術工学研究院 デザインストラテジー部門

芸術工学部 芸術工学科 未来構想デザインコース

専門:デザインエンジニアリング、ポスト人間中心デザイン

上記科目以外に、担当教員によるサポートゼミも開催されますので積極的に参加してください

4. 国際プログラム履修の流れ

（1）履修登録

国際プログラムの履修を検討している人には、1 年次後期に開催されるガイダンスに参加して事前準備等の説明を受けることをお勧めします。2 年次の春学期にプログラム説明会が実施され、続いて春学期終了時に、教務係にてプログラム履修希望申請を行い、夏学期の国際プログラム科目のスタート時に履修者が決定されます。国際プログラムについての相談窓口は芸工インターナショナルオフィスです。

国際プログラム履修者は 10 名程度となっていますので、それを超える希望があった場合は選考が行われることもあります。

(2) 英語テスト、国際プログラム科目の履修

国際プログラム履修者は、2年次の夏学期から冬学期にかけて国際プログラム4科目を履修します。

また、留学に備えて2年次に英語テスト(TOEFL/ IELTS)を受験してください。交換留学で求められる語学力の目安は、TOEFL ITP 550、iBT 80、IELTS 6.0 程度です。大学によって語学レベルが異なるので、詳細は芸工の国際交流ポータルサイトの「留学先リスト・担当教員一覧」もしくは「大学間学生交流協定校 申請書等一覧」から確認してください。

*留学先リスト・担当教員一覧

https://www.gg.design.kyushu-u.ac.jp/current_students/faculty-level

*大学間学生交流協定校申請書等一覧

<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/agreeview/agree-list3.php>

(3) 留学に向けた準備と心構え

1年次から留学説明会や Culture Nabe *などに積極的に参加して留学先の情報を収集し、留学生と交流しましょう。2年次には、ポートフォリオや CV(履歴書)など留学の申請に必要な書類の準備を始めるとともに、留学生サポーターを務めるなど留学生たちと積極的に交流し、留学に向けて準備をしましょう。

*大橋キャンパスで月1回開催される留学生との交流会。イベント詳細は学生ポータルでチェックしてください。「6. 留学生との交流」のページで詳しく紹介しています

(4) 留学

4年間で卒業することを考慮して3年次に留学することを推奨しています。留学期間は原則1クォーターから1年とします。またサマースクールなどへの参加も、受講証明書、または成績証明書等が取得できる場合は、審査のうえ条件を満たしていれば留学と認定できます。

留学については、グローバル学生交流センターに相談してください。部局間交流協定校への留学を希望する場合は、留学の6ヶ月前までに留学先を決定し、芸術工学部の担当教員へ応募してください。学内選考が実施される場合があります。大学間交流協定校への留学募集は約1年前の 10 月と4月に行われます。詳しくは下記の募集要項をご確認ください。

*大学間交換留学の学内募集

https://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/study/ex_prgm#study_ex_2

(5) 帰国後のこと

3年次と4年次に開講されるコース融合プロジェクト A・B に参加し、留学で得た知識や経験を共有しましょう。また、毎年学期初めの 10 月と 4 月に実施される留学報告会で留学経験を発表してください

(6) 修了証の交付手続き

修了要件を満たした学生には修了証が交付されます。修了証の交付を希望する学生は、卒業認定の際に

所定の申請書を提出し、修了要件を満たしていることが認定された後、卒業時に交付されます。

また、国際プログラム履修登録をしている学生には、修学中に履修状況を記載した国際プログラム履修証明書の発行が可能です。

国際プログラムでは、サマースクールや短期留学を含む海外留学により、留学先で語学以外の科目を 4 単位以上を取得していることが必須となっています。また、留学後の融合プロジェクト・プラットフォームの 4 単位を取得することを推奨しています。芸術工学部の学生向けの留学関連情報については、国際交流ポータルサイト Geiko Global をご覧ください。

＊国際交流ポータルサイト Geiko Global

<http://www.gg.design.kyushu-u.ac.jp/>

5. 留学について

学生の留学目的に合わせて、全学部・学府の学生を対象とする大学間交換留学(大学間交流協定校への留学)や特定の学部・学府の学生を対象とする部局間交換留学(部局間交流協定校への留学)など、様々な留学先が用意されています。積極的に情報を集め、チャレンジしてください。交換留学は、九州大学が海外の大学と締結した学生交流協定に基づき、基本的に半年から1年以内の期間で協定校に留学する制度です。交換留学期間中は在学扱いとなり、九州大学に授業料を納めていれば、留学先大学では授業料を徴収されません。留学先大学で取得した単位は、帰国後、所属学部に応じ申請し、認められれば九大での単位として取り扱うことができます。

なお、協定校以外の大学への留学も可能ですが、留学先の大学に授業料を支払う必要があることから、休学して留学することになります。

＊部局間交換留学協定校

https://www.gg.design.kyushu-u.ac.jp/current_students_category/partner-universities

＊大学間交換留学協定校

<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/agreeview/agree-list4.php>

> 部局間交流協定校への留学の流れ

Step 1. 留学相談

@大橋キャンパス グローバル学生交流センター

- ・ 留学全般についての案内
- ・ 協定大学・各大学担当の先生の案内
- ・ 提出書類、締め切りなどの案内
- ・ 奨学金の案内

Step 2. 留学希望大学決定後の相談

@担任、指導教員、各留学先大学担当教員、大橋キャンパス グローバル学生交流センター

まず、留学期間や単位などについて、担任または所属コースの教員に相談します。また、希望する大学のホームページを確認したり、担当者に連絡したりして、自分の勉強したいことが現地でできるのかを確認します。次に学内審査に必要な書類や応募時に留学先に提出する書類について確認します。卒業に必要な単位の取得状況や、卒業後の進路、就活等を考えて留学計画を立てます。

学内募集に応募したら、グローバル学生交流センターに知らせて、留学先大学へ提出する書類等のアドバイスを受けます。

Step 3. 学内審査

@各留学先大学担当教員

希望する留学先大学担当者に交換留学の申請希望を伝え、学内選考の有無を確認し、必要書類を提出します。学内選考については担当教員に尋ねてください。

Step 4. 留学先への申請・ノミネート

@各留学先大学担当教員、グローバル学生交流センター

学内審査に合格した学生は交換留学生として留学先にノミネートされます。留学先に提出する必要書類を準備し提出します。ほとんどの大学がオンライン申請となっています。提出書類については各留学先大学担当教員、またはグローバル学生交流センターへ相談してください。

受け入れ可否の結果は申請後1ヶ月ほどで来るので、担当教員や所属コースの担任や指導教員、グローバル学生交流センターに報告してください。

Step 5. 合格後に留学願の提出

@ 学生係

留学の2ヶ月前までに、留学願を提出してください。

Step 6. 留学準備

- ・ VISA 申請(国によって必要書類が異なる)
- ・ 滞在先申請(寮やアパートなど)
- ・ 保険申請
- ・ 航空券購入 など

Step 7. 出発・留学スタート！

> 大学間交流協定校への留学の流れ

Step 1. 交換留学説明会に参加する

Step 2. 募集開始されたら学内申請を提出する

Step 3. 学内選考(書面審査+面接審査)

- Step 4. 学内選考通知
- Step 5. 推薦先大学決定
- Step 6. 留学先大学へ申請
- Step 7. 留学決定
- Step 8. 出発・留学スタート！

*留学ガイド

大学間交流協定校への留学については「留学ガイド 世界にはばたけ九大生！（以下、留学ガイド）」をご確認ください。

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/international/abroad/guide>

>単位取得シミュレーション

留年せずに学部を卒業しようとする場合は、半年間の留学が基本ですが、コース教員の判断によっては、1年間の留学も可能です。国際プログラム履修者は早い時期に留学計画を立てて、卒業までの単位取得について担任や国際プログラム担当教員と相談し、具体的にシミュレーションしてください。

>単位互換

留学先で修得した単位は、九州大学の卒業要件として取り扱われます。ただし、修得単位の認定(単位互換)については、芸術工学部で審査があり、どこまで認定されるかは学務専門委員会の判断となります。なお、認定単位数・科目区分は履修した授業内容等により決定されます。留学先で、デザインの概念、アプローチ、実践などに関する専門の演習授業を履修することで、各コースに開設されている国際デザイン科目(専門選択科目)*の単位として認定されます。また海外の大学のプロジェクト科目のうち本学部のプロジェクト科目に相当するものについては、融合プロジェクト・プラットフォーム(最大4単位)として認定します。

この制度により、最大16単位を上限として卒業要件単位に算入できます。このほか、海外の大学において修得した授業科目のうち、専門科目と教育内容の同等性が認められる科目については読み替えて単位認定できます。単位の認定を希望する場合は、帰国後すみやかに、留学先大学で発行された成績証明書とシラバス(授業内容がわかるもの)等を教務係に提出してください。単位互換については別途ガイドラインに基づいて認定されます。

*国際環境デザイン A1～4および B1～4、国際メディアデザイン A1～4および B1～4、国際未来構想デザイン A1～4および B1～4、国際環境インダストリアルデザイン A1～4および B1～4、国際音響設計デザイン A1～4および B1～4

>留学奨学金

九州大学では海外留学のための奨学金を用意しています。また、九州大学以外の留学奨学金も紹介しています。芸術工学部の学生係、グローバル学生交流センターで適宜情報提供しておりますのでご相談ください。海外留学奨学金については「留学ガイド」を参照してください。

＊留学ガイド

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/international/abroad/guide>

6. 留学生との交流

> 留学生サポーター

留学生サポーターは、来日したばかりで不安が多い留学生が生活をスムーズに始められるようサポートする制度です。国際交流に関心がある、外国語を学びたい、留学生をサポートしたいという学生は積極的に応募してください。留学の準備としても有効です。芸工での募集時期は、例年 3 月～4 月ごろを予定しています。締切等の詳細は、芸術工学部学務課までお問合せください。

＊留学生サポーター

https://www.gg.design.kyushu-u.ac.jp/current_students_category/geiko-student-supporters

> Culture Nabe

大橋キャンパス内では、日本人学生、留学生など様々な国籍の学生・教職員が一体となり、異文化交流イベントや学外へのフィールドトリップなどの国際交流イベントを開催しています。留学生との交流を通じて、英語力の向上だけでなく、様々な国の文化や価値観を知り、グローバルな考え方や意識を持てるようになることを目的としています。留学に向けた準備としても、協定校からの留学生と交流することで、留学先の情報収集や、留学先での生活をイメージすることができるので、ぜひ活用してください。

＊Culture Nabe Facebook

Facebook: <https://www.facebook.com/culturenabe/>

九州大学主催の短期留学プログラムについては「留学ガイド」をご参照ください。

＊留学ガイド

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/international/abroad/guide>

7. 問い合わせ窓口

大橋キャンパス内の問い合わせ窓口は次の通りです。

住所:福岡市南区塩原 4-9-1

大橋キャンパス管理棟1F 学務課

履修届、単位互換について：学務課教務係

Tel: 092-553-4631

E-mail: gkgkyomu@jimu.kyushu-u.ac.jp

奨学金、留学願について：学務課学生係

Tel: 092-553-9489

E-mail: gkggakusei@jimu.kyushu-u.ac.jp

留学相談、留学手続き、留学奨学金について：グローバル学生交流センター

Tel: 092-553-4650

E-mail: gkglobal@design.kyushu-u.ac.jp

留学生サポーターについて：学務課

gkgintlooh@jimu.kyushu-u.ac.jp

大橋キャンパス管理棟3F

その他、国際プログラム全般について：芸エインターナショナルオフィス

Tel: 092-553-4652

Email: intl-ofc@design.kyushu-u.ac.jp